

## 2025年度 地域連携活動助成金 活動成果報告書

### 1 活動概要

活動団体名	明治大学商学部恩田睦ゼミナール
活動テーマ	波賀森林鉄道を利用するツアー・イベントの実施 ——公共交通不便地域への誘客策の調査研究——
活動期間	2025年 4月 1日～2025年10月31日
主な活動場所	明治大学駿河台キャンパス、 兵庫県宍粟市
連携地域	兵庫県宍粟市（とくに同市波賀町）
連携団体等	波賀元気づくりネットワーク協議会 中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会
活動者数	6名（本学学生5名、専任教員1名） ※ 活動に参加した本大学の教職員及び学生の人数を入力してください。

## 2 活動概要 ※活動内容や活動成果は地域連携センターHP等で公表します。

活動目的（地域が抱える課題との関係や活動により期待される効果等、本活動が地域の課題解決や活性化につながる事が分かるように記入してください。）

**スタート型**：新しい地域連携活動を着想した背景、また必要性について記載してください。

**ステップアップ型**：「過年度の活動内容」を記載の上、今回の申請の「発展性」あるいは「応用内容」などを記載してください。※過年度の活動が無ければ記入不要です。

本活動は、公共交通の便が悪く、知名度の低い兵庫県宍粟市波賀町への誘客を図ることで、地域の観光活性化と魅力再発見を目指したものであった。同市内には鉄道路線が存在せず、アクセスの不便さが観光客数の伸び悩みの要因となっている一方、地元有志らによって「復活」した波賀森林鉄道をはじめとする地域資源がもつ潜在的魅力は高かった。そこで、明治大学商学部がマーケティングと交通の観点からアンケート調査やデータ分析を行い、波賀町の観光ニーズを可視化（「見える化」）することで、地域の強みを再発見し、それを観光客に効果的に伝える方策を提案・実践した。

この取り組みを通じて、地域住民が自らの資源の価値を再認識する契機にもなり、観光振興に対する地元の主体的な関与が期待された。また、学生にとっても現地での調査・分析・提案活動は、大学での学修内容の深化と実践力の育成につながり、教育的効果も高いものとなった。

活動計画（活動目的を達成するための具体的な計画や方法、申請団体と連携地域・団体等がそれぞれ担う役割、過年度の活動実績や次年度以降の継続性等について詳しくしてください。）

本活動では、4月から6月にかけて学生による基礎理論の学修とオンラインでの意見交換を実施し、7月に宍粟市内においてアンケート調査とヒアリング調査を実施した。調査結果の分析を経て、8月上旬にかけてイベントツアーの企画案を立案し、ツアーに参加していただける地元企業・団体の方々に説明を行った。10月11（土）～12日（日）に開催した現地でのイベントツアー「はがねいろ」は関係各所の尽力と協力により大きなトラブルなく実施することができた。また、10月25日（土）には波賀町で開催された「第3回全国森林鉄道サミット in しそ波賀」に登壇して一連の活動内容を踏まえた成果発表も行い、地元との連携と継続的な関係構築を図った。

ただし、当初予定していた神戸学院大学のゼミナールとの協働活動は、先方の都合により実現せず、最終的にはオンラインでの意見交換会を1回実施するにとどまった。これにより、アンケート調査やイベント実施における連携は、本学学生のみで主体的に進めることとなり、結果として参加学生の自立性や問題解決能力の向上につながった。

本活動の継続性としては、今回得られた調査データや地元関係者とのつながりをもとに、現地の方々のご意向を踏まえつつ、今後における波賀町の観光施策やイベント企画に対する継続的な支援と提案を行う可能性はあると考えている。

活動スケジュール（実施した広報活動についてもご記入ください。）

<活動スケジュール>

- ・2月2日：学生側と波賀元気づくりネットワーク協議会の皆さまとの顔合わせをオンラインで実施。その際に、学生側には「波賀町・波賀森林鉄道の知名度を高める取り組み」の企画提案・実施が課題として伝えられた。
- ・3月～5月：企画提案に向けた調査を実施。各地の森林鉄道遺構を活用した観光振興策を調査して波賀町に適用できる要素を検討した。

- ・ 5月25日：波賀元気づくりネットワーク協議会の皆さまとのオンラインミーティングで学生側から企画提案を実施。「オンパク」型の短期間集中の着地型観光によるイベントツアー「はがねいろ」を提案し、採択された。このときに、本助成金が仮に不採択だったとしても、学生全員が自費をもってやり遂げることを明言し、学生なりの覚悟を示した。
- ・ 6月上旬～下旬：本学内において宍粟市の地理や森林鉄道の歴史についての調査活動、アンケート調査の実施にあたっての事前学習を実施。アンケート調査の項目を作成した。
- ・ 7月5～7日：宍粟市内におけるアンケート調査、波賀元気づくりネットワーク協議会の皆さまとの交流会、福元晶三・宍粟市長に挨拶を行った。
- ・ 7月中旬～8月上旬：アンケート調査結果を分析して、イベントツアー企画の具体案を作成した。
- ・ 8月6～7日：宍粟市内においてイベントツアー「はがねいろ」に参加してくださる企業・団体様を対象にした説明会を実施した。
- ・ 10月11～12日：イベントツアー「はがねいろ」を実施。地域の方々のご協力により、6つのプログラムを用意することができた。あいにくの天候であったが、2日間で兵庫県内外から70名程度の観光客が参加した。
- ・ 10月25日：「第3回全国森林鉄道サミット in しそ波賀」で学生主体のプレゼンを実施。翌26日には、「林鉄フェスしそ 2025」というイベントに学生メンバーが参加して木工体験のワークショップを主催した。
- ・ 10月末～11月上旬：活動の振り返りを実施

#### <広報活動>

7月中旬：Meiji NOWに記事掲載

9月中旬：姫路エリア「FM ゲンキ」に学生が出演して大学・学部・ゼミ名および企画概要を説明。

また、現地での活動を中心に、神戸市を活動拠点としているユーチューバーの「デネブちゃんねる」氏には、活動期間の全体を通じて大変多くの動画を撮影、配信していただいた。

連携先からの一言/参加学生からの一言/参加者からの一言（連携先又は参加学生からの一言の場合、所属と氏名をご記入ください。）

・ 所属：波賀元気づくりネットワーク協議会事務局 氏名：大谷奈雅子氏

今回、明治大学の学生の皆さんとご一緒できたことを大変嬉しく思っております。波賀森林鉄道という私たちにとっては馴染みのある風景が、若い皆さんの目を通して「新しい観光資源」として捉えられ、魅力的に発信されたことに大きな可能性を感じました。学生の皆さんが熱心に地域を歩き、話を聞き、真剣に考えてくださった姿に、私たち地元住民も励まされました。今後もこうしたご縁を大切にし、継続的な交流につなげていければと願っております。

・ 所属：本学商学部 氏名：有田陽登

地域の方々との交流を通じて、観光資源に対する地域の誇りや期待を肌で感じました。自分たちの提案が地域に貢献できる可能性を感じたことで、社会に役立つ学びの重要性を改めて実感しました。活動を通じて、チームワークや情報共有の大切さを知ることができました。

・所属：本学商学部 氏名：飛座大地彦

波賀町という初めて訪れる地域でのフィールドワークは、自分の視野を広げる貴重な機会となりました。アンケート調査では、観光客の生の声に触れ、机上のマーケティング理論だけでは分からない実践的な知識を多く得ることができました。波賀町での活動は半年程度でしたが、自分大学生生活においてもっとも印象的な経験の一つとなりました。

・所属：本学商学部 氏名：田中昌樹

「はがねいろ」当日の運営では、訪れた方々から直接「楽しかった」と言ってもらえたことが印象に残っています。自分たちの準備が成果につながったと実感し、努力が報われた思いでした。こうした思いをゼミナールの SNS を通じて発信させていただきました。

・所属：本学商学部 氏名：小塚陽斗

現地調査やイベント運営を通して、地域に眠る観光資源の魅力をどう発信するかという課題に正面から向き合うことができました。地元の方との意見交換を重ねる中で、私たち学生の視点が地域活性化に役立つことを実感し、自信につながる経験となりました。

・所属：本学商学部 氏名：近藤源斗

アンケートの設計から分析までの一連のプロセスを主に担当しました。データから地域の課題やニーズが見えてきた瞬間の達成感は思っていた以上のものでした。マーケティングの実践的スキルを学びつつ、社会に還元できる手応えを得られた活動でした。

※なお、本活動の計画時には、もう一名の参加学生がいたが、本助成金の申請後に本人から健康上の不安を理由に辞退する旨の申し出があり、やむなく了承に至ったことを付記する。